

## 第 V 章. 地域別方針

---

V-1. 北部地域

V-2. 南部地域

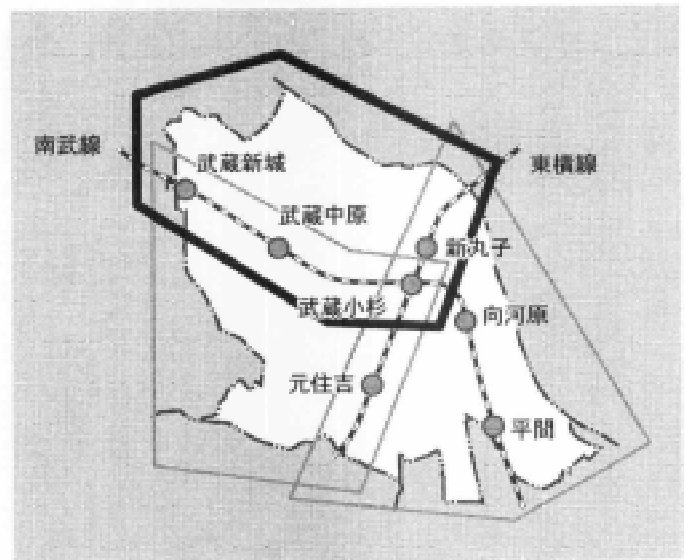
V-3. 東部地域

## V-1. 北部地域

### 1. 北部地域の現状と課題

- ・北部地域は、多摩川、JR南武線、東急東横・目黒線で囲まれた地域を指します。
- ・この地域は、駅を中心とした4つの生活圏と、等々力緑地、多摩川緑地で形成されています。

【北部地域】

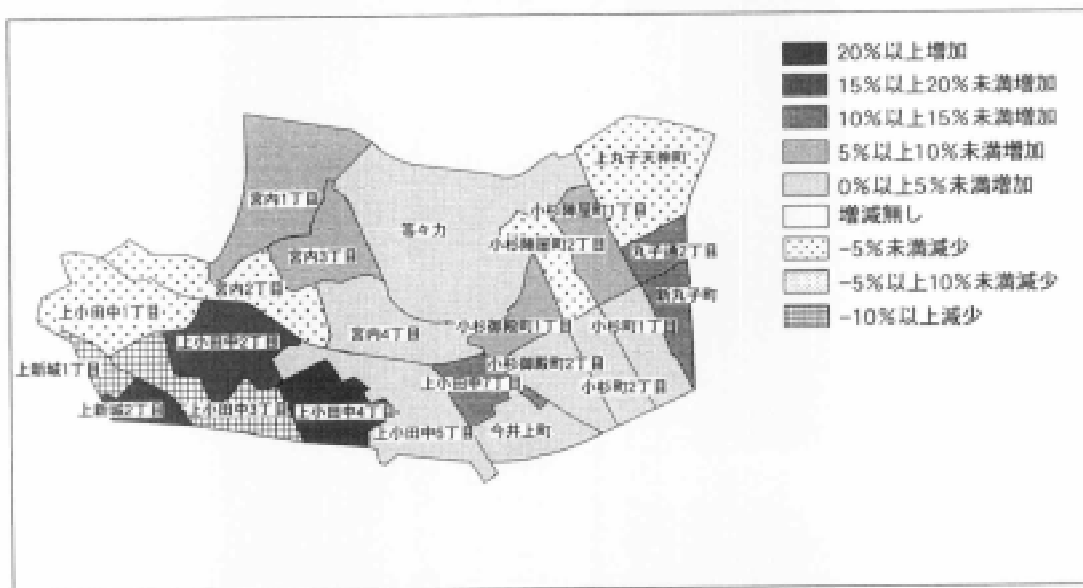


#### (1) データで見る北部地域の現状

##### ①人口

- ・北部地域は、駅周辺の地区では、人口増になっているものの、宮内地区、丸子天神地区や上小田中地区の一部では人口減がみられます。
- ・武蔵新城駅周辺、武蔵中原駅周辺では、急激な人口増がみられます。

■北部地域・町丁別人口増減率（平成8年～12年）



資料：川崎市統計書<sup>※</sup>

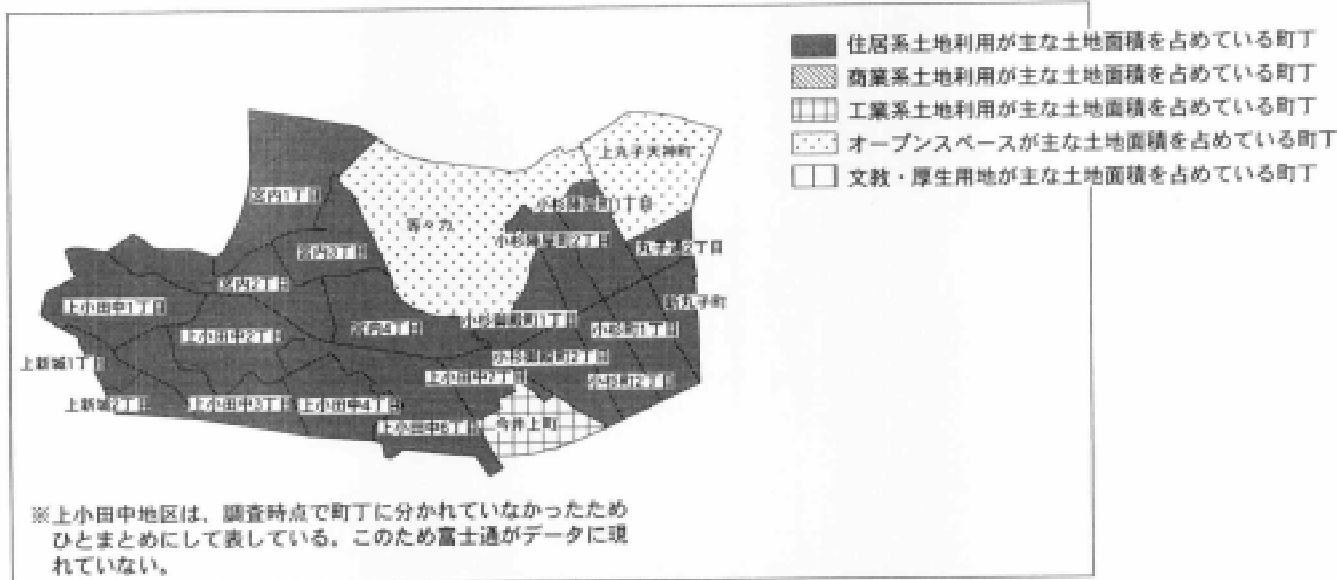
※町丁別の人口は各年10月1日現在の住民基本台帳人口と外国人登録人口を合算したもの。  
なお、平成12年は平成12年国勢調査の速報値を掲載。

## ②土地利用

－ほとんどが住居系の土地利用である－

- ・北部地域の土地利用をみると、今井上町で工業系、等々力、上丸子天神町がオープンスペースが主な土地面積を占める土地利用になっている他は、ほとんどが主に住居系の土地利用になっています。

■北部地域・町丁別土地利用分類

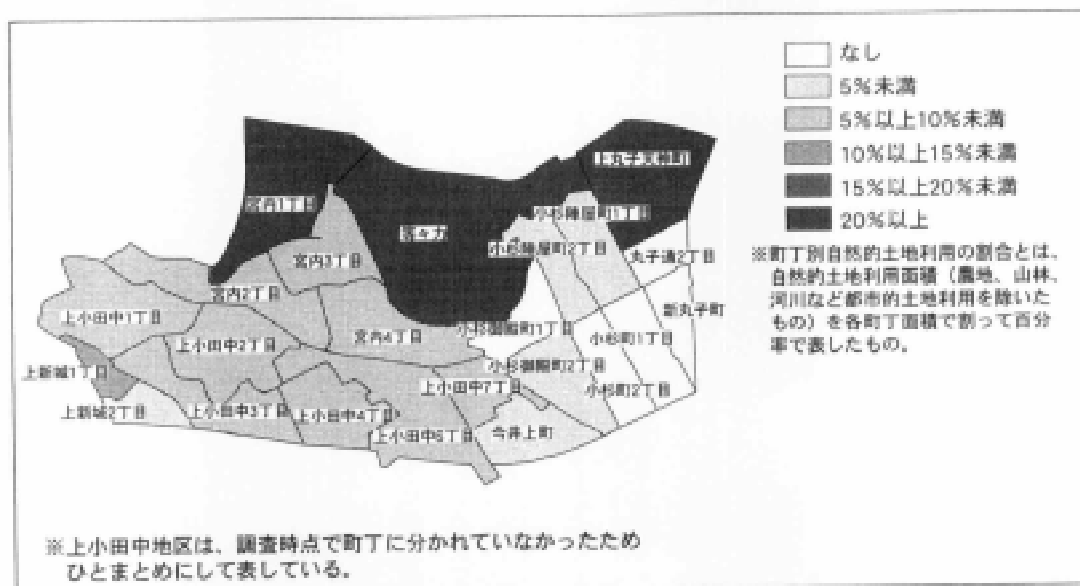


資料：平成7年度都市計画基礎調査

－多摩川に接している地域が自然的土地利用の割合が高い－

- ・自然的土地利用をみると、北部地域では、多摩川に接している地域が、自然的土地利用の割合が高くなっています。

■北部地域・自然的土地利用の割合

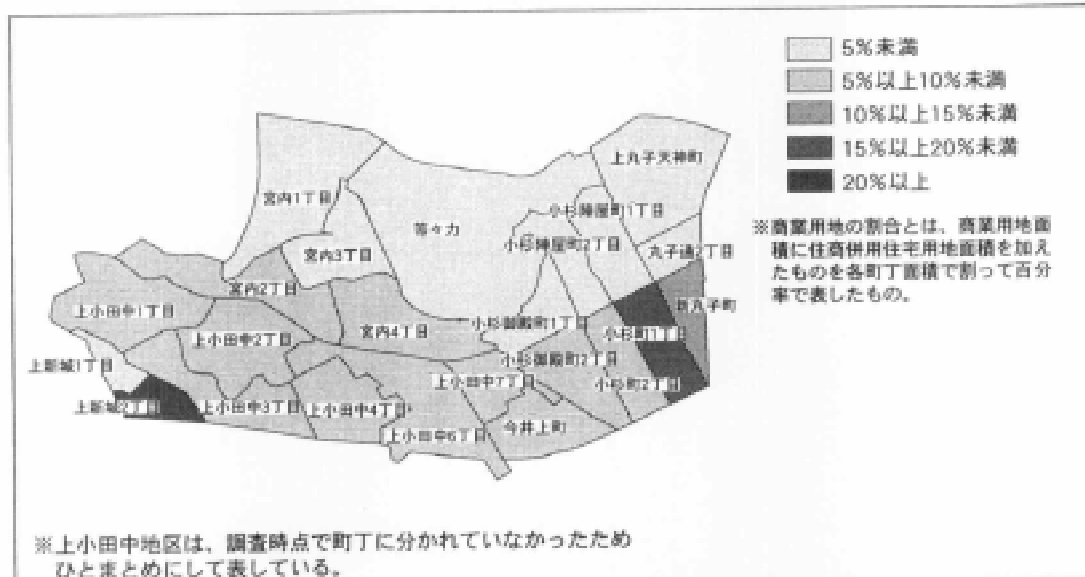


資料：平成7年度都市計画基礎調査

ー武蔵新城駅・武蔵小杉駅周辺で商業用地の割合が高くなっているー

- ・北部地域の商業用地の割合をみると、武蔵新城駅に接している上新城2丁目、武蔵小杉駅に接している小杉町2丁目、新丸子2丁目で高くなっており、それ以外の地区は、10%未満と商業の集積はみられません。

■北部地域・商業用地の割合

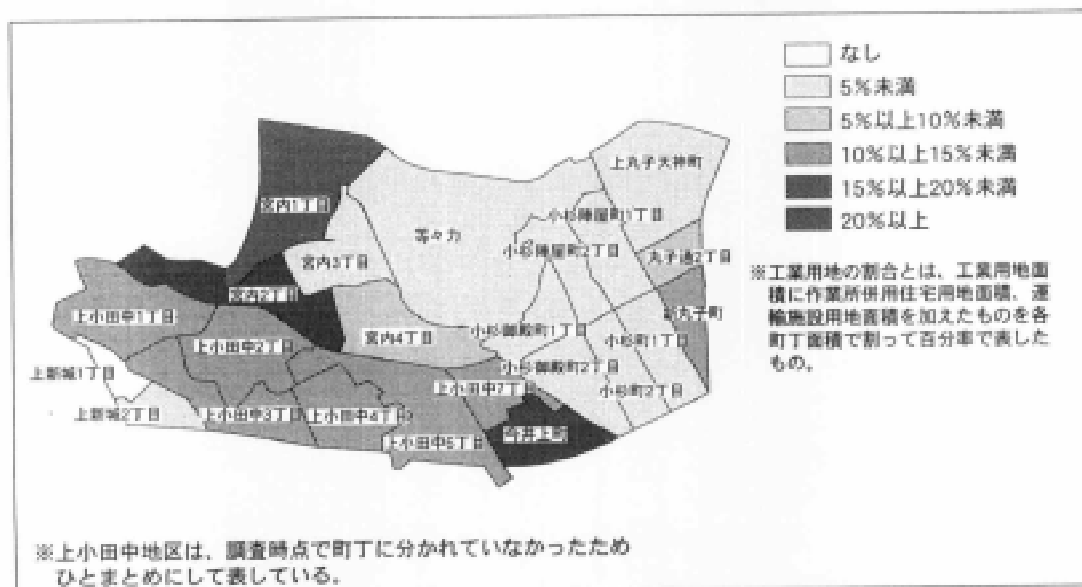


資料：平成7年度都市計画基礎調査

ー宮内地区、今井地区で工業用地の割合が高くなっているー

- ・北部地域の工業用地の割合をみると、今井上町及び宮内地区で特に高くなっています。

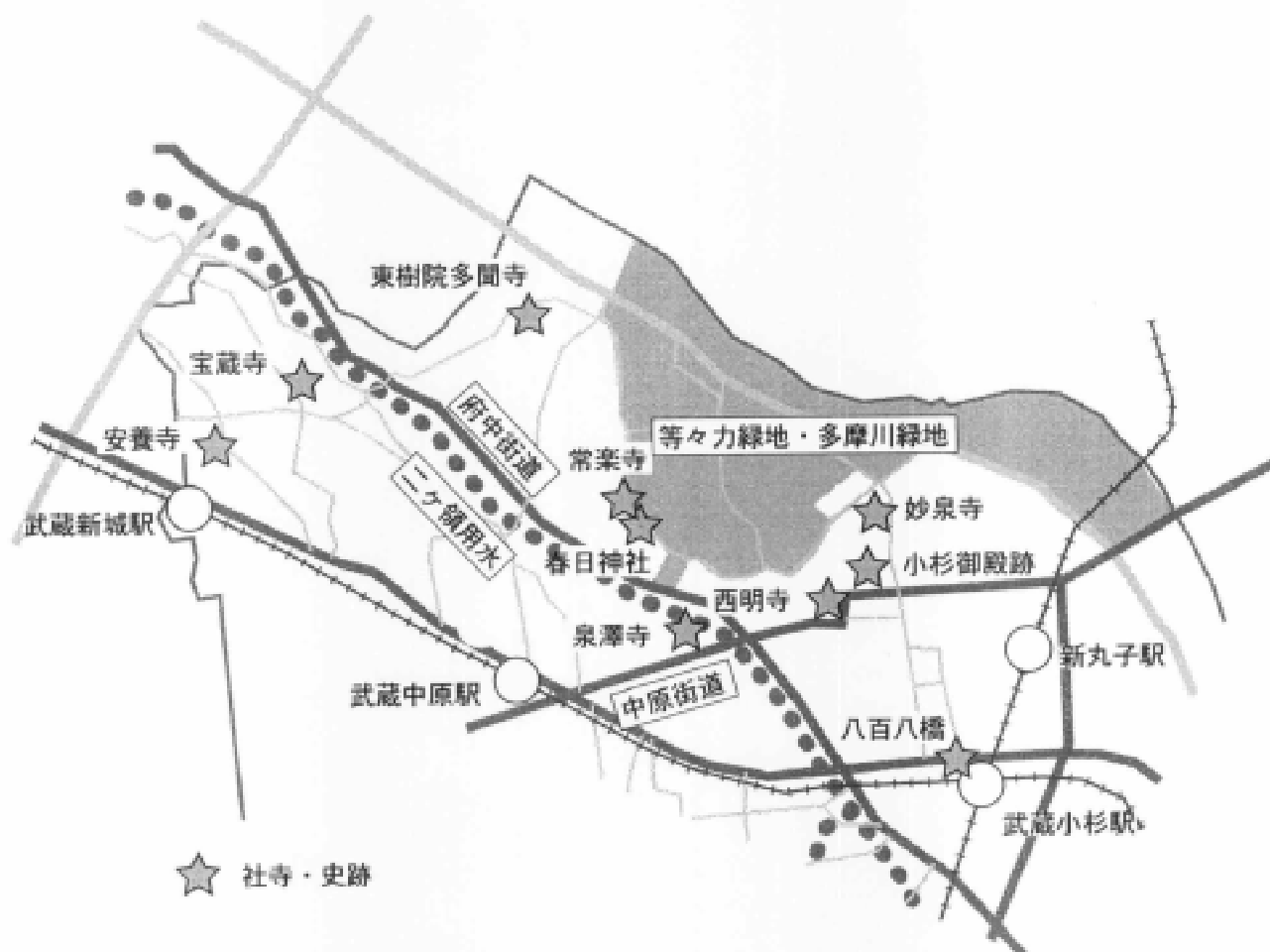
■北部地域・工業用地の割合



資料：平成7年度都市計画基礎調査

## (2) 北部地域の資源

・北部地域のまち資源は、次のものがあります。



### ① 等々力緑地

・等々力緑地には、陸上競技場、硬式野球場、アリーナ、市民ミュージアムなどが整備されており、中原区だけではなく川崎市のスポーツ、文化の象徴的な場所になっています。

### ② 多摩川及び多摩川緑地

・北部地域に沿って多摩川が流れています。また、多摩川の河川敷は、多摩川緑地として市民の憩いの場になっています。

### ③ 府中街道

・北部地域を2つに分けるように府中街道が走っています。府中街道は、東海道と甲州街道を結び昔から重要な道路として利用されてきました。また、大正時代には、馬車鉄道の路線として利用されていました。

#### ④中原街道

- ・中原街道は、東海道が整備される前までは江戸へ向かう参勤交代のルートになっていた歴史的な道です。中原街道沿いには、今も史跡が多く点在しています。また、現在は、中原駅から等々力緑地へ行くルートとして利用されています。

#### ⑤二ヶ領用水

- ・二ヶ領用水は、多摩川の水を農地に流すために江戸時代に整備されました。現在は、市民の憩いの場として、沿川に桜や桃の木が植えられ、親水化の整備が進められています。

#### ⑥社寺、史跡

- ・北部地域では、社寺や史跡が多く立地しています。

### (3)北部地域の生活圏

- ・北部地域は、駅を中心に4つの生活圏が形成されています。



#### (4)地域の現状と課題

・地域の現状と課題を整理すると次のようになります。

○武蔵新城駅周辺～宮内地区（1～3丁目）、上小田中地区（1～3丁目）等～

- ・武蔵新城駅周辺は、大規模スーパーや商店街が集積しています。日常的な買い物などは、概ね駅周辺でまかなえます。
- ・宮内地区は、古くから“町工場のまち”として栄えたところであり、住宅と小規模工場が混在しています。最近では、小規模工場が閉鎖され、住宅が建っていくところがみられ無秩序な開発が懸念されています。このため、住宅と小規模工場の共存が求められています。
- ・武蔵新城駅を中心とした生活圏は、全体的に道路が入り込んでおり住宅が密集し、防災面の懸念があります。このため、密集市街地の改善が求められています。
- ・また、将来は、横浜方面から多摩沿線道路まで抜ける宮内新横浜線が整備される予定であり、都市計画道路沿道の計画的な土地利用の誘導が求められています。

○武蔵中原駅周辺地域～宮内地区（4丁目）・上小田中地区（6丁目）・小杉御殿町地区等～

- ・武蔵中原駅を中心とした生活圏では、商店街の集積はありませんが“エポックなかはら（中原会館）”があり、中原区のコミュニティ・文化施設となっています。また、等々力緑地があるなど、スポーツ施設や文化施設が充実したところでもあります。
- ・中原街道は、東海道ができる前の参勤交代のルートになった歴史的な街道です。また、現在は、プロサッカーチームのホームスタジアム（陸上競技場）へ向かうルートになっています。このため、新旧が調和する街道づくりが求められています。
- ・小杉御殿町地区では、西明寺や「カギの道」などの史跡がありこれらを活かしたまちづくりが求められています。
- ・この地域も全体的に道路が入り込んでおり住宅が密集しており、防災面の懸念があります。このため、密集市街地の改善が求められています。
- ・武蔵中原駅前には、大規模な工場が立地しています。

○武蔵小杉駅周辺地域～小杉町地区・～

- ・武蔵小杉駅を中心とした生活圏は、第3都心に位置づけられており、中原区の中で最も賑わいのあるところです。武蔵小杉駅前には、タワープレイス、小杉会館をはじめとした中高層の商業・業務施設が立地しています。

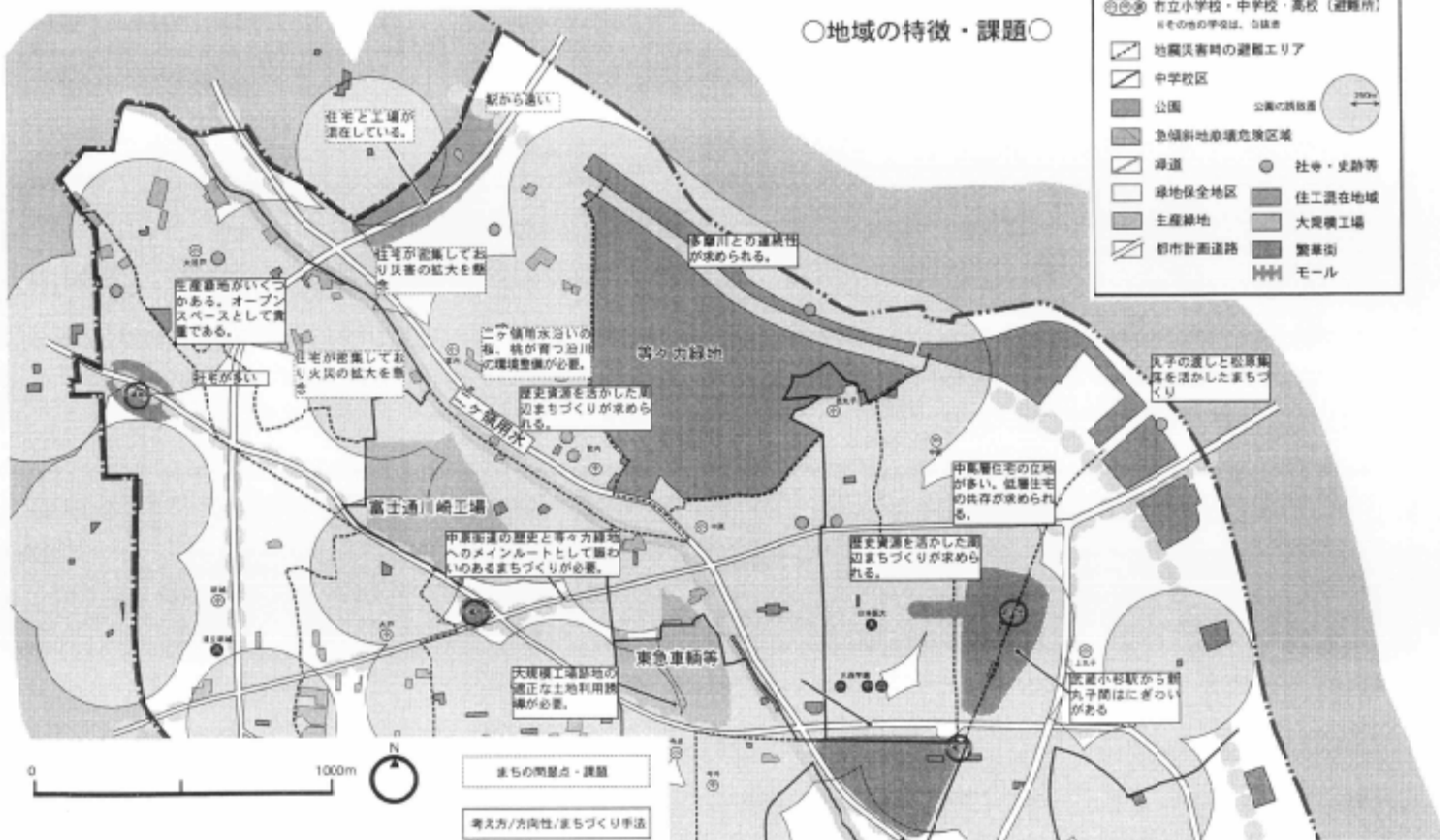
○新丸子駅周辺地域～小杉陣屋町地区・丸子地区～

- ・新丸子駅を中心に近隣商店街が形成されており、特に新丸子駅から日本医大付属病院へ向かう商店街がi d a iモールと呼ばれにぎわっています。
- ・新丸子駅周辺は、東京方面へ向かうことが便利なため、住宅地として人気があります。このことから、近年中高層集合住宅が建設されています。低層住宅との共存が求められています。



○地域の特徴・課題○

- ◎◎◎◎ 市立小学校・中学校・高校（避難所）  
◎◎◎◎ その他の学校は、◎◎◎◎
- ▨ 地震災害時の避難エリア
- ▨ 中学校区
- 公園
- ▨ 急傾斜地崩壊危険区域
- ▨ 河川
- ▨ 緑地保全地区
- ▨ 生産緑地
- ▨ 都市計画道路
- 社・支所等
- 住工混在地域
- 大規模工場
- 繁華街
- ▨ モール



住宅と工場が混在している。

駅から近い

住宅が密集しており災害の拡大を懸念

多摩川との距離が近い

生産緑地がいくつかある。オープンスペースとして貴重である。

ヒマノ橋南水沿いの橋。橋が腐つた川の水質改善が必要。

歴史資源を活かしたまちづくりが求められる。

住宅が密集しており火災の拡大を懸念

緑の広場

丸子の渡しと松原橋を活かしたまちづくり

富士通川崎工場

中原街道の歴史と等々方緑地へのメインルートとして賑わいのあるまちづくりが必要。

中尾層住宅の立地が多い。低層住宅の共存が求められる。

東急車輛等

歴史資源を活かしたまちづくりが求められる。

既設小形駅から新丸子間はにぎわいがある

大規模工場基地の適正な土地利用誘導が必要。



まちの調査と課題  
考え方/方向性/まちづくり手法